

第2期  
射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
～選ばれるまち快適安心居住都市 いみず～  
令和2年度進捗状況報告書  
(案)

令和3年9月  
射水市

# 目次

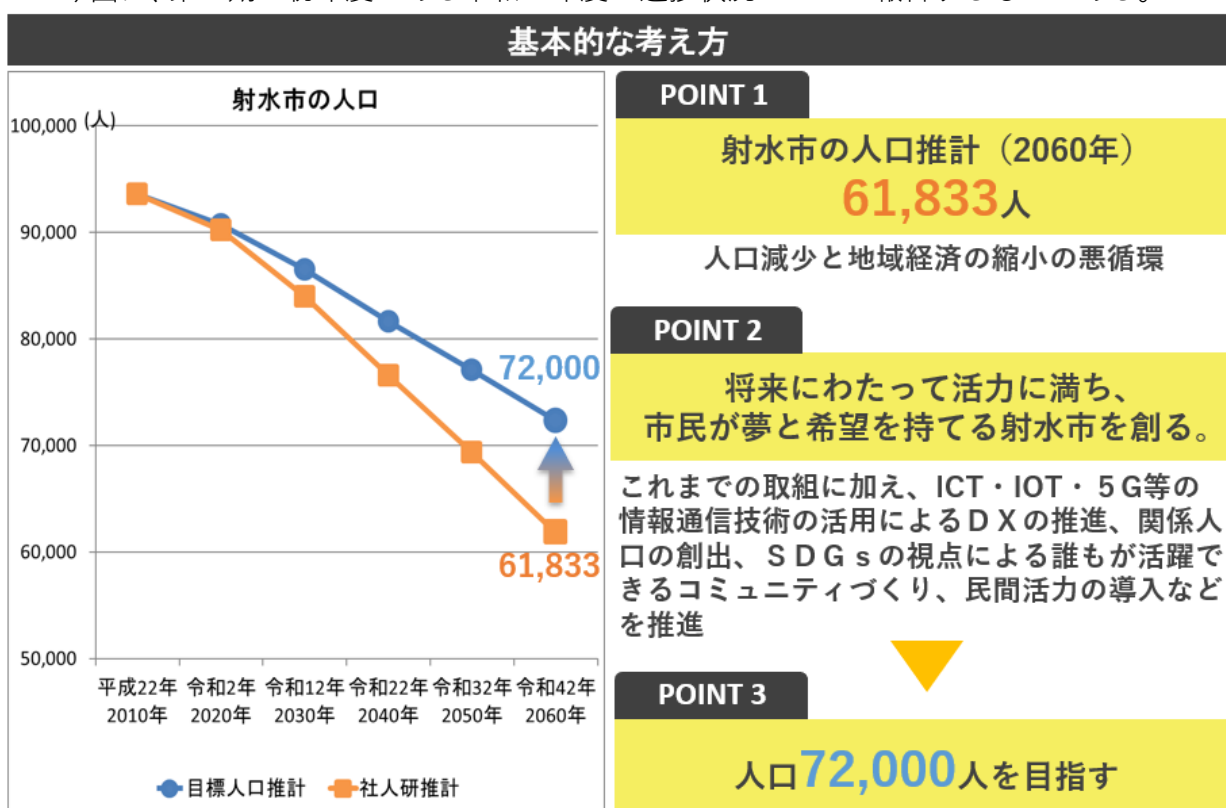
1	報告書策定の趣旨 .....	1
2	評価の方法 .....	2
3	人口の状況 .....	2
4	数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況 .....	4
5	総合戦略の改訂 .....	12
6	令和2年度地方創生交付金活用事業の効果検証 .....	12
7	総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標 .....	18

## 1 報告書策定の趣旨

本市では、平成27年10月に人口減少の克服と地域活性化による地方創生を強力に進め、将来にわたって活力に満ち、市民が夢と希望を持てる射水市を創るため、「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定した。令和元年度には第1期の検証等を踏まえ、第2期総合戦略（令和2年度～令和6年度）を新たに策定している。

総合戦略は、4つの基本目標にそれぞれ数値目標を、各施策には重要業績評価指標（KPI）を設定しており、毎年度、射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会において、施策の効果検証等を行い、必要に応じて総合戦略の見直しを行うこととしている。

今回は、第2期の初年度である令和2年度の進捗状況について報告するものである。



基本目標 <b>1</b>	結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり
基本目標 <b>2</b>	地域のしごとづくり
基本目標 <b>3</b>	市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり
基本目標 <b>4</b>	安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり

## 2 評価の方法

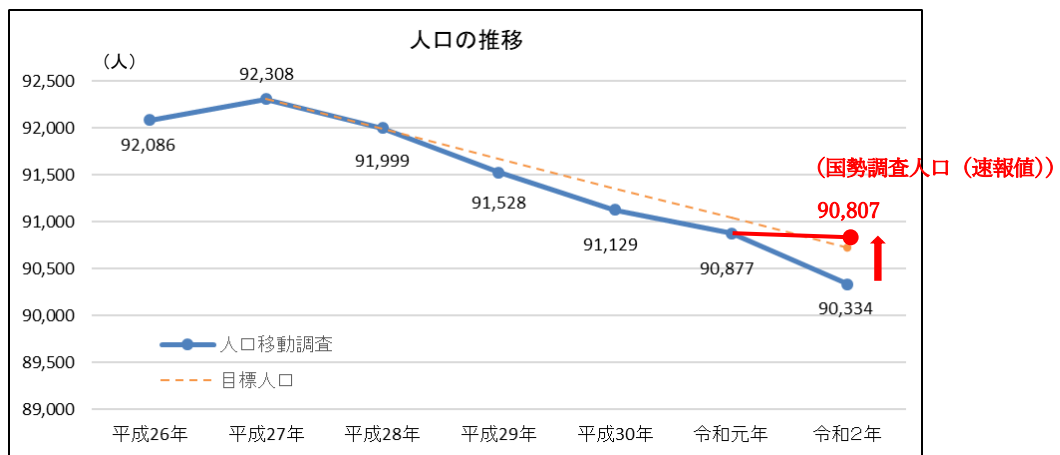
第2期射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を客観的に検証するため、数値目標及び重要業績評価指標（KPI）を次の5段階で評価を行う。

- |          |                                |
|----------|--------------------------------|
| (1) 達成   | ・・・最終年度の目標値を達成している。            |
| (2) 順調   | ・・・目標値に対して基準値からの進捗率が32%以上      |
| (3) 概ね順調 | ・・・目標値に対して基準値からの進捗率が16%以上32%未満 |
| (4) 維持   | ・・・目標値に対して基準値からの進捗率が16%未満      |
| (5) 遅れ   | ・・・基準値を下回っている。                 |

## 3 人口の状況

### (1) 人口の現状

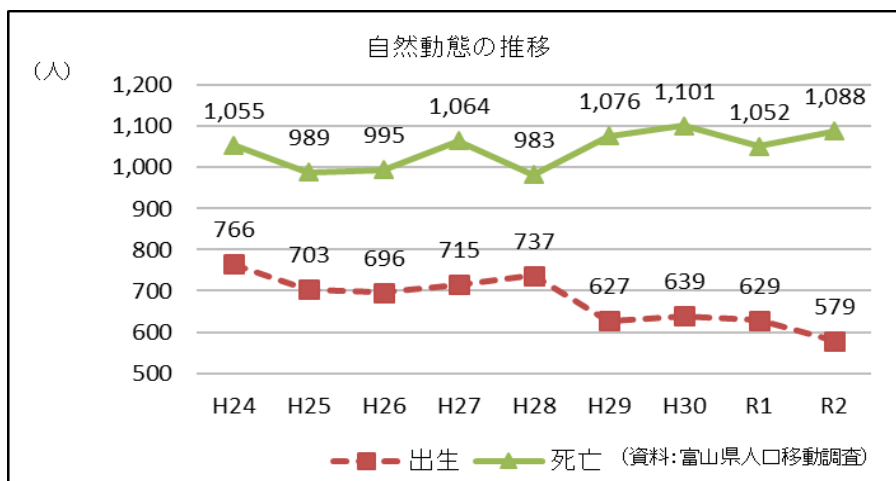
令和2年10月1日現在の本市の総人口は90,334人で、前年と比較して543人、0.60パーセントの減となっているが、令和2年国勢調査人口（速報値）における本市の人口は90,807人であり、令和2年時点の目標人口である90,724人を83人上回っている。



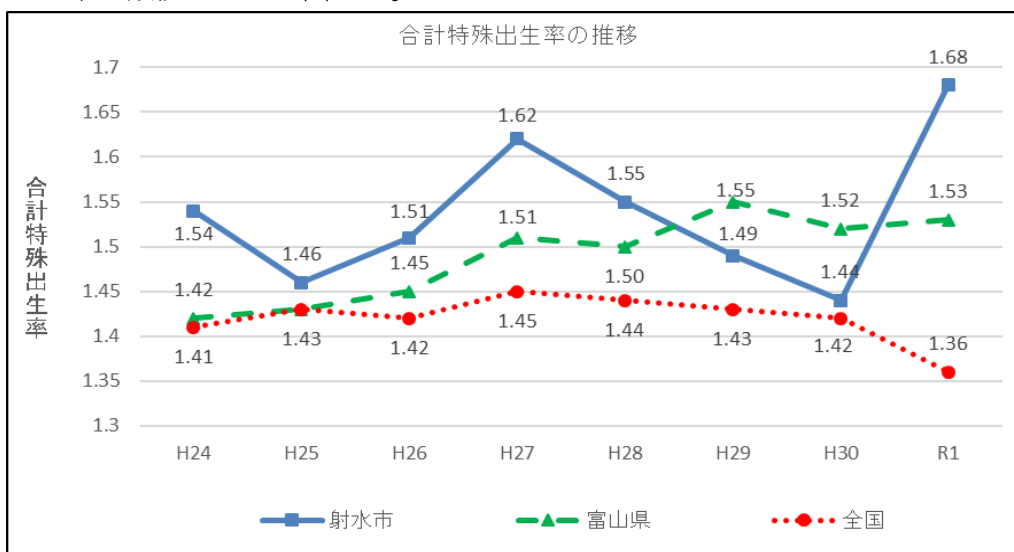
(資料：富山県人口移動調査)  
※平成27年は国勢調査

### (2) 自然動態

- ① 令和2年の出生者数は579人で、前年と比べ50人減少した。一方、死亡者数は1,088人で、前年と比べ36人増加し、自然動態は509人のマイナスとなった。

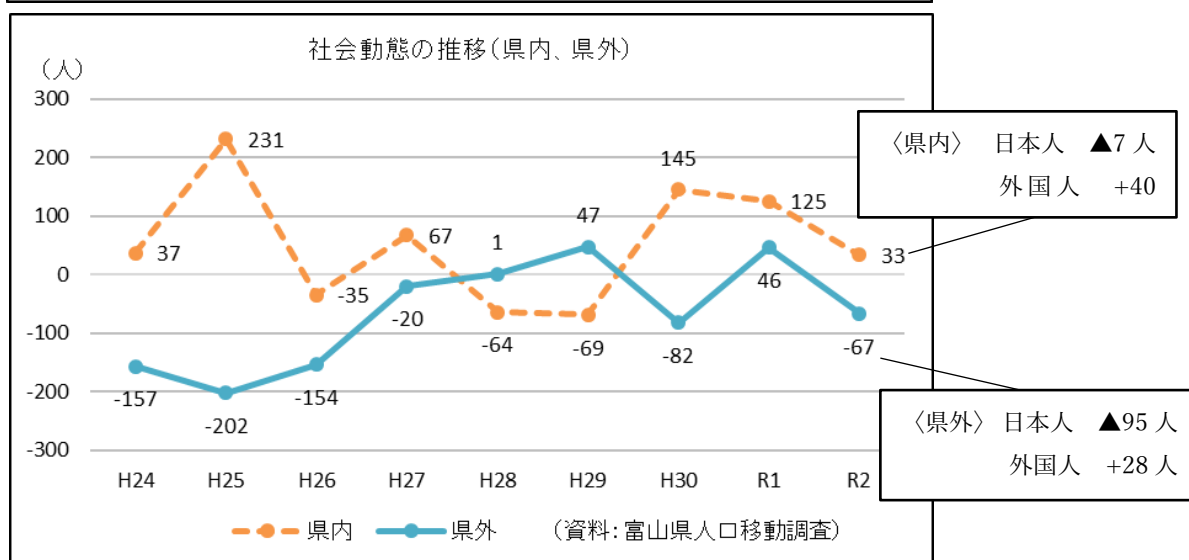
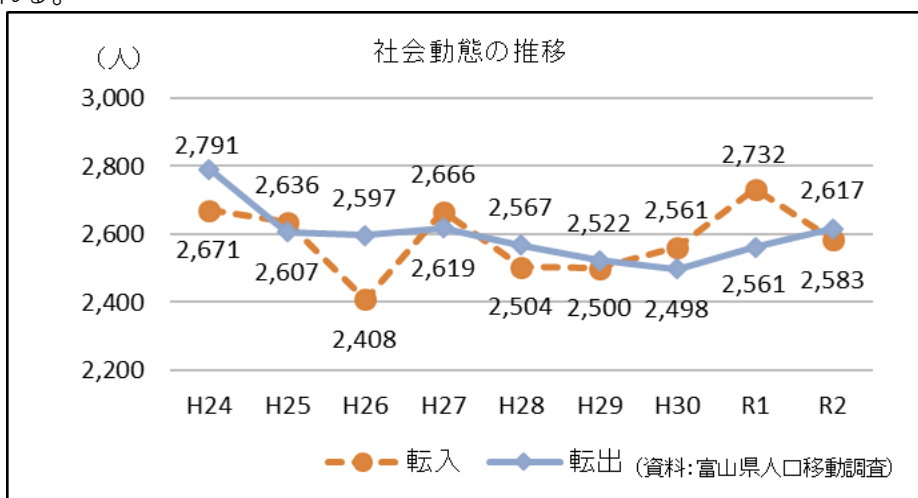


② 令和元年の合計特殊出生率は1.68であり、前年から0.24ポイント上昇し、国及び県の数値よりも上回った。



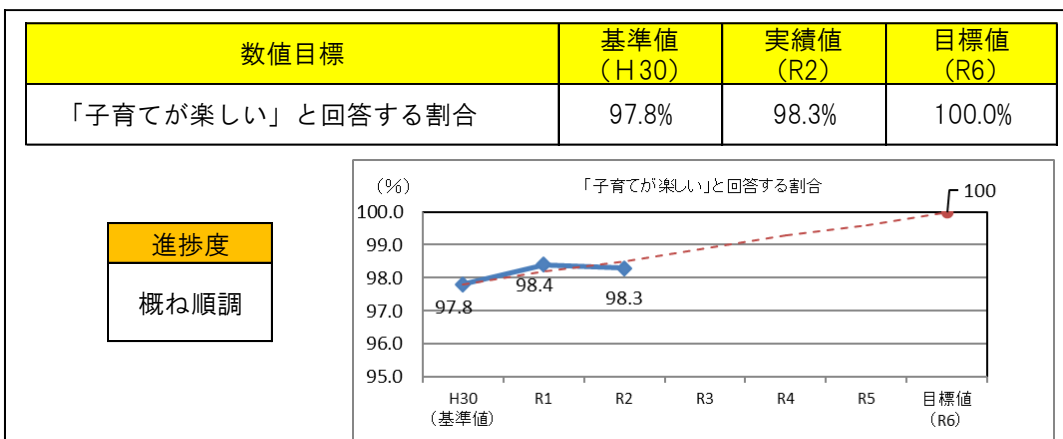
### (3) 社会動態

令和2年の転入者数は2,583人で、転出者数の2,617人を下回り、社会動態は34人のマイナスとなった。また、県内・県外別の移動では、県内で33人の転入超過、県外では67人の転出超過となった。これは、新型コロナウイルス感染症の影響による移動制限のため、外国人の転入者が前年比で183人減少したことによるものと考えられる。



#### 4 数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況

##### 基本目標1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり

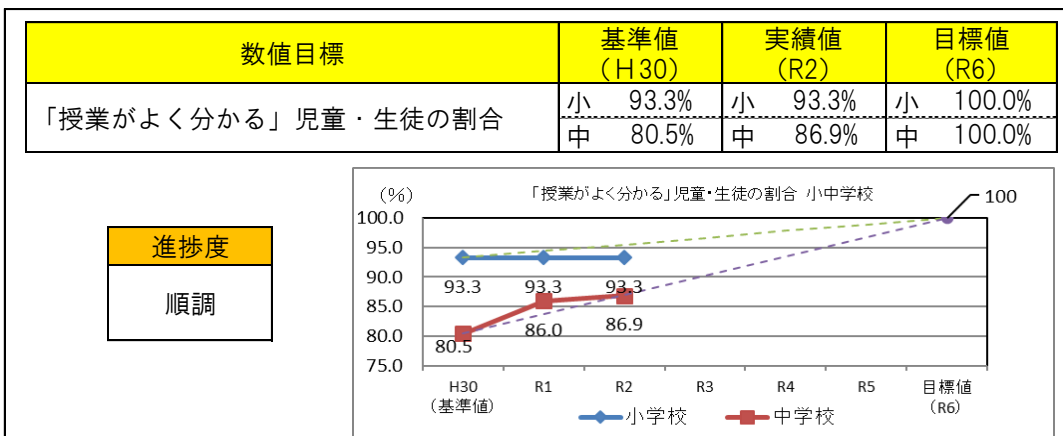


##### <主な取組及び成果>

- 平成29年度に子ども子育て総合支援センターを開設し、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない相談・支援を行うことで、安心して子育てできる体制を整えている。
- 産後ケア事業(日帰り型・宿泊型・訪問型)、産後家事サポート事業、母子保健推進員による妊娠期及び6～7か月児への家庭訪問を実施し、産前・産後サポート体制の充実を図った。

##### <今後の取組>

- 子ども子育て総合支援センターが多くの方に利用してもらえるよう、新型コロナウイルスの感染対策を徹底し、市民への更なる周知を図る。
- いみずママベビサポート事業(産後ヘルパー事業、多胎ピアサポート事業)を拡充し、育児の悩み等の共有やストレスの軽減を図り、子育て家庭を支援する。



##### <主な取組及び成果>

- 授業では、学習規律やルールを踏まえた指示、解決までの学習活動の見通しを持たせる課題提示の工夫等、「射水スタンダード～授業のABC～」を意識した実践がみられ、児童生徒の「分かる・できる(自尊感情)」の高まりにつながった。
- 学習サポーターを47人、チームティーチング指導員を8人配置し、きめ細かな学習指導・生活指導を行い、児童生徒の学習等への支援と教員の負担軽減を図った。また、「小学生学び応援塾」の実施による算数の学力補充を行ったほか、タブレット端末、大型モニター及び電子黒板機能付プロジェクターの使用により授業への関心を高めた。

##### <今後の取組>

- 個々の児童生徒の学力差に対応した指導の推進を図るため、補充学習の充実や授業及び家庭学習の効果的な取組を一層推進する。また、児童生徒の自尊感情を高めることによる学習意欲の喚起についても継続的に取り組む。
- ICT環境の整備やALTの配置が児童・生徒の学習効果の拡大につながっているかを点検・評価し、効果的な実践を各校の指導に生かすよう共有を図っていく。

## 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	3	1	1	3	5

※把握できなかった2件を除いて計上

※小学校、中学校で区別されているものは分けて計上

KPI		基準値 (平成30年度)	実績 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
1	男女出会いイベント数	4件	11件	8件	達成
2	休日保育実施保育園数	9園	8園	10園	遅れ
3	子育て支援センター(市内9か所)の年間利用者数	50,122人	22,562人	55,000人	遅れ
4	新 R2 射水市子育て支援センター利用者満足度	(基準値R1) 89.0%	91.0%	100%	概ね順調
5	子育て情報ちやいる.comへのアクセス数(累計)	99,569件/年	4,719,678件/年	538,000件/年	達成
6	新 赤ちゃんの駅設置箇所数	37箇所	38箇所	45箇所	維持
7	男性の育児休暇取得率	18.9%	31.6%	20.0%	達成
8	3歳6か月児健康診査の受診率	99.2%	99.6%	100%	順調
9	家庭学習の1日当たり時間が「10分間×学年」以上の児童・生徒の割合	(小学校)88.2%	(小学校)88.2%	(小学校)100%	維持
		(中学校)68.3%	(中学校)71.4%	(中学校)100%	維持
10	地域の行事に参加している児童・生徒の割合	(小学校)79.3%	—%	増加	計測不可
		(中学校)61.2%	—%	増加	計測不可
11	不登校児童・生徒数	(小学校)32人	(小学校)36人	減少	遅れ
		(中学校)63人	(中学校)91人	減少	遅れ
12	家庭教育に関する講座・学習会の年間参加者数	994人	424人	1,100人	遅れ

※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

※新 R2…新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和2年度末の改訂時に新たに設定したもの

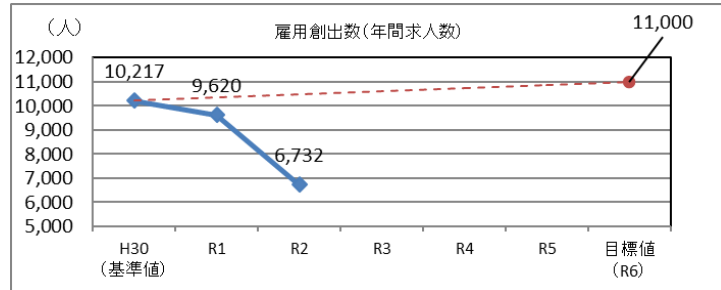
※計測不可…令和3年9月時点において、集計できなかったもの

- 「男女出会いイベント数」については、婚活サポーターズクラブ主催のイベントや市が助成し民間が主催するイベントを11回開催したところ、19組のカップルが誕生し、うち2組が結婚した。
- 「子育て支援センターの年間利用者数」については、土曜日の開所など保護者が利用しやすい環境づくりに努めているが、新型コロナウイルス感染症等の影響（利用制限）により利用者が減少した。
- **新**「射水市子育て支援センター利用者満足度」は、利用者アンケートから集計しており、「県外出身ママ・こら〜れ♪」など新たなサークル活動の実施や各種イベント回数を増やすなど、利用者のニーズに応じたメニューを充実したことにより満足度が上昇した。
- **新**「赤ちゃんの駅設置箇所数」は、授乳やおむつ替えができるスペースを兼ね備えた施設、店舗等の箇所数を計上しており、引き続き、設置個所を増やすための周知に努める。
- 「不登校児童・生徒数」については、家庭に不安を抱える子が増加傾向にあることから、小・中学校ともに不登校者数は増加した。引き続き、教育アドバイザーによる研修の充実と悩みを抱える児童生徒や保護者、教職員に対する相談体制の整備を図る。また、学び合う集団づくり推進事業によるQ-U調査（学校における児童生徒の意欲や満足感等を測定する調査）のほか、マイサポーター制度の充実を図り、児童生徒の自尊感情を高める取組を進める。

## 基本目標2 地域のしごとづくり

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)
雇用創出数(年間求人数)	10,217人	6,732人	11,000人

進捗度
遅れ



### <主な取組及び成果>

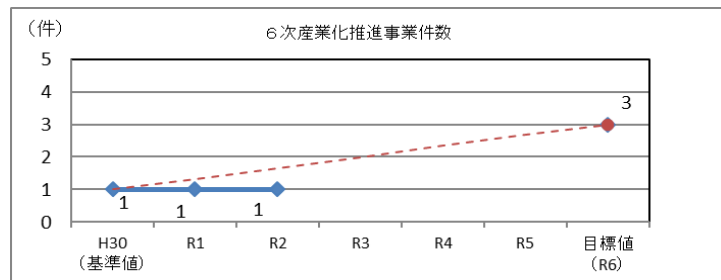
- 1 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に有効求人倍率が減少する中であっても、富山県及び高岡管内の有効求人倍率は全国平均を上回った。  
※高岡管内有効求人倍率:H30年度2.06、R1年度1.85、R2年度1.26(富山県1.23、全国平均1.10)

### <今後の取組>

- 1 合同企業説明会参加支援について、補助対象を三大都市圏から県外に拡充したところであり、制度の周知と活用の促進に努める。
- 2 参加学生が減少傾向にあることから、民間開催の説明会と日程が重複しないよう調整を図る。また、開催方法(対面・オンライン・併用)については、今後の新型コロナウイルス感染症の状況や参加者(事業者・学生)のニーズを見極めながら検討する。
- 3 市内企業のテレワーク環境等の整備促進を図り、遠隔勤務など、新しい雇用形態への取組を支援する。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)
6次産業化推進事業件数	1件	1件	3件

進捗度
維持



### <主な取組及び成果>

- 1 射水6次産業掘り起こし事業として、JAいみず野のえだまめの新規販路開拓、えだまめの加工品開発等を支援した。

### <今後の取組>

- 1 富山6次産業化サポートセンターによる、専門的な指導助言を積極的に活用し、6次産業化を推進する。
- 2 6次産業化による新商品開発等に向け、国県の補助事業を積極的に活用する。



## 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	1	0	0	3	4

※把握できなかった2件を除いて計上

KPI	基準値 (平成30年度)	実績 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
13 市内企業団地分譲率	97.6 %	97.6 %	100 %	維持
14 創業支援事業補助金年間 利用件数	15 件	12 件	20 件	遅れ
15 産学官金連携による共同 研究の年間件数	14 件	15 件	15 件	達成
16 新 射水ブランド商品開発等支援補 助金を活用した延べ件数	1 件	1 件	7 件	維持
17 新 養殖サクラマスの年間出 荷数	17,200 尾/年	12,764 尾/年	40,000 尾/年	遅れ
18 新 IT、IoTを活用して生産性向上 に取り組む事業者の割合	0.0 %	— %	30.0 %	計測不可
19 新 R2 テレワークを実施している 企業数	(基準値R2) 0 件	— 件	増加	計測不可
20 新 長時間労働の削減に取り 組む事業者の割合	56.3 %	54.0 %	65.0 %	遅れ
21 中小企業退職共済加入者 数	3,759 人	3,786 人	4,200 人	維持
22 人材確保充足数	1,601 件	1,077 件	1,650 件	遅れ

※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

※新 R2…新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和2年度末の改訂時に新たに設定したもの

※計測不可…令和3年9月時点において、集計できなかったもの

- 「市内企業団地分譲率」については、未分譲用地への企業進出を促すため、企業立地助成金制度を拡充したほか、新たに沖塚原企業団地の整備に向け、埋蔵文化財の試掘調査、基本・実施計画及び造成工事を実施した。
- ⑧ 「射水ブランド商品開発等支援補助金を活用した延べ件数」は、支援補助金の交付件数を計上しており、内川をPRするお菓子「内川さんぽ」の開発に対する支援を行った。引き続き、中小企業の新商品開発を支援するため、当該補助金の周知に努める。
- ⑧ 「養殖サクラマスの年間出荷数」は、堀岡養殖漁業協同組合から報告のあった出荷数を計上しており、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、鮮魚、JR、飲食関係への出荷は激減したが、県が実施した学校給食事業で約 8,700 尾出荷されたことにより、前年比約 2.5 割増となった。引き続き、平均重量の増加や歩留まり率向上（7割）を目指して養殖技術の向上に取り組む。
- ⑧ 「長時間労働の削減に取り組む事業者の割合」は、市内中小企業を対象としたアンケート調査結果をもとに集計しており、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や労働時間の調整等で勤務時間や時間外労働が減少したため、長時間労働の削減に取り組む企業数も減少した。引き続き、企業状況調査により現況を把握し、企業の意識改革や長時間労働の削減の促進に努める。
- 「人材確保充足数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用創出数（年間求人数）が減少したため人材確保充足数（就職件数）が減少した。引き続き、射水市雇用対策推進協議会やとやま呉西圏域連携事業による合同企業説明会を開催し、市内企業と求職者とのマッチングを図る。

基本目標3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)
純移動数 (転入者数－転出者数)	△ 164人	115人	0人 (均衡)

※直近5年間の累計

進捗度

達成

<主な取組及び成果>

- 新型コロナウイルス感染症の影響等による地方移住への機運の高まりを受け、首都圏及び関西圏でのプロモーション活動や情報発信に取り組んだ。

<今後の取組>

- 技能実習生など外国人の転入が多いことから、多言語対応や地域との繋がりを大切にする取組を進め、外国人にとっても住みよいまちづくりを進める。
- とやま呉西圏域連携事業による移住サポートステーションの設置や空き家情報バンクへの物件登録の強化により、若者の定住やUターン促進に一層努める。
- 本市へのUターンを促進するため、県外の高等教育機関に在学する学生の市内企業への就職活動等に係る交通費の一部を支援する「学生Uターン応援事業」に取り組む。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)
射水市観光ホームページ閲覧数	332,298件	406,297件	600,000件

進捗度

概ね順調

<主な取組及び成果>

- 新型コロナウイルス感染症に関する情報をすばやく正確に情報発信することで、市民の安全安心の確保に努めた。

<今後の取組>

- 24時間応答可能なAIチャットボットの導入や9言語(日本語、英語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、韓国語、タイ語)対応の観光サイトJFM(JAPAN in JAPAN for Municipality)の射水市紹介ページにアクセスできるバナー画像の設置など、更なる利便性の向上を図る。

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	3	3	0	0	6

※把握できなかった5件を除いて計上

KPI		基準値 (平成30年度)	実績 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
23	新 移住施策を活用して市外から移住した延べ人数	88 人	94 人	100 人	順調
24	新 指定宅地における住宅建築率	41.9 %	45.3 %	50.0 %	順調
25	住宅相談窓口年間相談数	36 件	48 件	45 件	達成
26	空き家の有効活用支援延べ件数(サテライトオフィス、シェアオフィスを含む。)(累計)	1 件	3 件	3 件	達成
27	新 空き家情報バンクへの登録件数	36 件	49 件	40 件	達成
28	ロケ地来訪者(川の駅)数	45,835 人/年	27,367 人/年	50,000 人/年	遅れ
29	海王丸パーク周辺入込数	1,767,400 人/年	734,250 人/年	1,850,000 人/年	遅れ
30	新 継続的に射水市にふるさと納税をした人数	295 人/年	308 人/年	320 人/年	順調
31	新 R2 市公式LINEアカウント友だち数	(基準値R2) 0 人	— 人	5,000 人	計測不可
32	新 フットボールセンターの年間利用者数	0 人/年	— 人/年	60,000 人/年	計測不可
33	コミュニティバス等乗車人数	418,572 人/年	337,376 人/年	450,000 人/年	遅れ
34	万葉線乗車人数	1,192,041 人/年	804,244 人/年	1,200,000 人/年	遅れ
35	新 小杉駅、越中大門駅の乗車人数	1,558 千人/年	1,189 千人/年	1,600 千人/年	遅れ
36	市内企業に就職したい学生の割合	50.7 %	— %	70.0 %	計測不可
37	学生訪問支援事業の参加学生の満足度	97.2 %	— %	98.5 %	計測不可
38	合同企業説明会の学生参加者数	18 人/年	16 人/年	90 人/年	遅れ
39	市のまちづくりについて「関心がある」と答える学生の割合	63.0 % (学生アンケートによる)	— %	70.0 %	計測不可

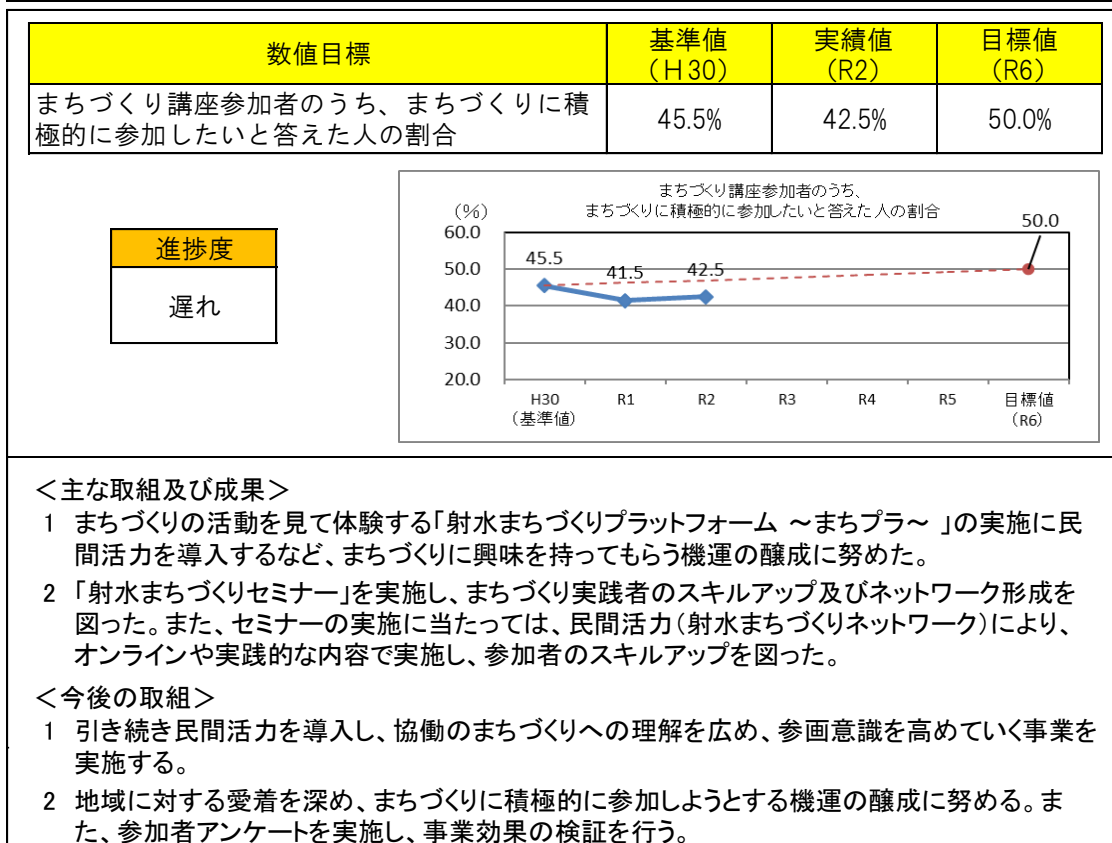
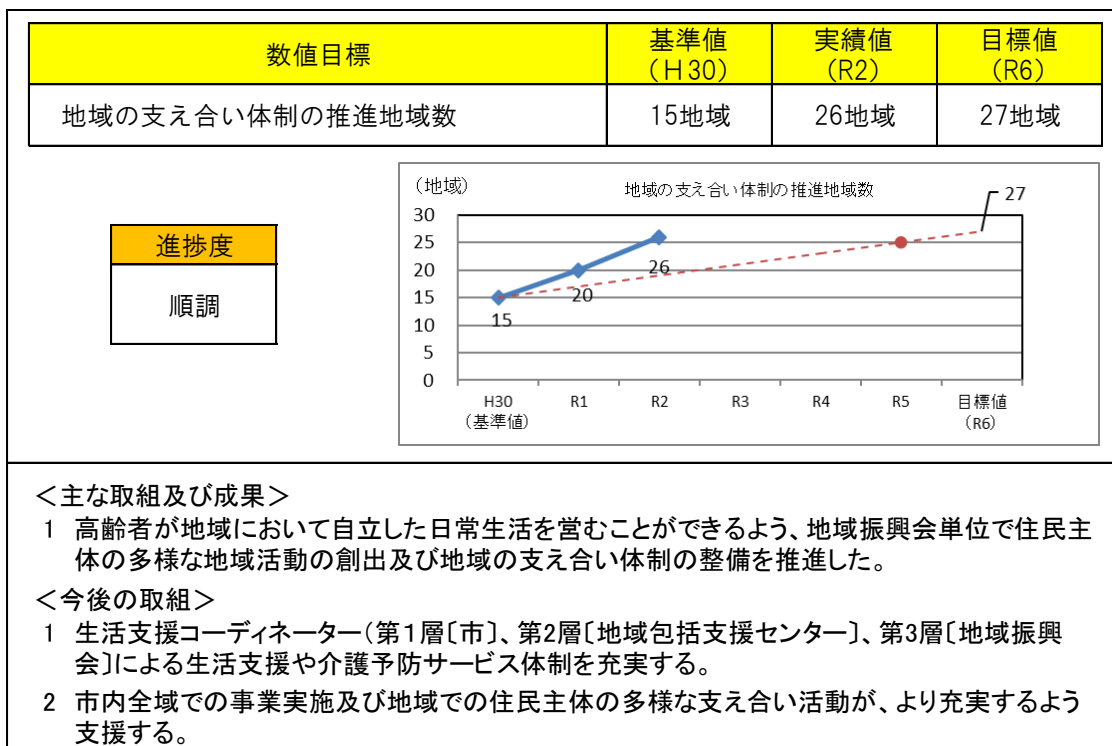
※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

※新 R2…新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和2年度末の改訂時に新たに設定したもの

※計測不可…令和3年9月時点において、集計できなかったもの

- ⑨ 「移住施策を活用して市外から移住した延べ人数」については、若者世帯に対する家賃補助制度や指定宅地取得支援制度等の利用者が増加した。引き続き、呉西圏域連携事業による移住者向けツアーのほか、移住コーディネーターの雇用等により移住者の増加及びサポート体制の強化を図る。
- ⑨ 「指定宅地における住宅建築率」については、住宅金融支援機構と連携した住宅ローン「フラット 35」の金利引下げのほか、空き家情報バンクに登録された指定宅地を新たに対象項目として追加したことにより増加した。
- ⑨ 「空き家情報バンクへの登録件数」については、固定資産税の納税通知書に登録案内チラシを同封し、空き家所有者に登録を促した。また、相談窓口や市内不動産業者からも空き家バンクを周知することで、登録件数が増加した。
- ⑨ 「継続的に射水市にふるさと納税をした人数」については、寄附者の利便性の向上を図るため、取り扱いポータルサイトを増やした結果、件数が増加した。
- 「コミュニティバス等乗車人数」、「万葉線乗車人数」及び⑨ 「小杉駅、越中大門駅の乗車人数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により乗車人数が伸びなかった。今後は、路線・ダイヤの見直しのほか、万葉線 IC カードの導入など利便性の向上を図る。

## 基本目標4 安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり



### 重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	3	3	1	3	3

※把握できなかった2件を除いて計上

KPI		基準値 (平成30年度)	実績 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
40	総合患者満足度数	4.13 点	4.17 点	4.15 点	達成
41	防災士取得者数	109 人	123 人	162 人	概ね順調
42	消防団員数	707 人	670 人	757 人	遅れ
43 新	一人／日当たりのごみの 排出量	(基準値H27) 1,117 g	11月ごろ確定 g	1,006 g	計測不可
44 新	リサイクル率	(基準値H27) 30.9 %	11月ごろ確定 %	34.5 %	計測不可
45	まちづくり講座受講者数	22 人/年	115 人/年	200 人/年	順調
46 新	事業運営を担う中核的法人 数	0 法人	0 法人	2 法人	維持
47	元気な高齢者の割合	82.0 %	81.6 %	78.0 %	達成
48 新	多文化こどもサポートセン ターの年間参加者数	176 人	152 人	200 人	遅れ
49	見直しする公共施設数	32 件	39 件	42 件	順調
50	ICカードの多目的利用業 務数	4 業務	3 業務	10 業務	遅れ
51 新	IoT活用延べ業務数	0 業務	1 業務	15 業務	維持
52 新	RPA活用延べ業務数	0 業務	13 業務	20 業務	順調
53 新 R2	テレワーク活用延べ件数	(基準値R1) 0 件	39 件	360 件	維持
54	呉西圏域で連携して取り 組む事業数	32 件	33 件	33 件	達成

※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

※新 R2…新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和2年度末の改訂時に新たに設定したもの

※計測不可…令和3年9月時点において、集計できなかったもの

- (新)「事業運営を担う中核的法人数」は、老若男女が活躍できる「ごちゃませ」のまちづくりに主体的に取り組む法人数を計上しており、令和3年度には、足洗地区で、温泉を活用したごちゃませ施設が開業する予定である。
- (新)「多文化こどもサポートセンターの年間参加者数」については、令和元年度からは児童登録数が2名、参加者数も40名増加したものの、引き続き、登録サポーターの養成やチラシの配布など周知に努め、対象者の掘り起こしに務める。
- (新)「IoT活用延べ業務数」は、多言語対応業務として、「POCKETALK(ポケットーク)」2台を総合案内窓口に設置した。
- (新)「RPA活用延べ業務数」は、令和元年度に総務省の自治体行政スマートプロジェクトの採択を受け、令和2年度は、市営駐車場利用料金の納付書作成業務(エクセルデータを財務会計システムへに取り込み、納付書を作成するもの。)をはじめとした13業務の実証を行った。
- (新)「テレワーク活用延べ件数」は、市職員でテレワークを実施した件数を計上しており、令和2年度にテレワーク専用端末を30台導入し、職員延べ39人が実施した。

## 5 総合戦略の改訂

今後、国の動向（例年12月に国の総合戦略を改訂）を踏まえ、検討する。

## 6 令和2年度地方創生交付金活用事業の効果検証

令和2年度に国の地方創生推進交付金を活用した事業は、以下のとおりです。

### ①高齢者と観光客が融合するまち「射水」創造事業

事業費 51,453千円  
 交付金額 25,726千円

<事業概要>R1~R5

①観光客の玄関口である北陸新幹線新高岡駅をから新湊地区、そしてあいの風とやま鉄道小杉駅を結ぶ周遊バスを運行し、交流人口の拡大によるにぎわいの創出を図る。

②新湊地区にある複数の観光地と既存商店街とを結ぶ移動手段として、電動カートや電気自動車の導入を図り、観光客の利便性向上とともに、地域の高齢者の買い物の足とすることで、商店街の復興と活性化を図る。また、地域資源の掘り起こしによる新商品開発による販路拡大や創業支援による新規出店を促すため、キッチンカーの活用を図る。

③本市の玄関口である小杉駅から観光客を新湊地区に誘導する方策を検討する。

KPI		H30	R2	R5
商店街等新規出店支援事業補助金交付件数(件)	目標値		4件	13件
	実績値	0件	3件	
内川(川の駅)来訪者数(人)	目標値		45,170人	46,370人
	実績値	44,370人	27,367人	
あいの風とやま鉄道小杉駅乗車数(一日当たり)(人)	目標値		3,198人	3,213人
	実績値	3,188人	2,449人	
元気な高齢者の割合(要介護認定等を受けていない者の割合)(%)	目標値		81.0%	81.0%
	実績値	81.0%	81.8%	

<主な取組及び成果>

- 公共交通の利便性を確保し交流人口の拡大や地域活性化を図るため、クロスベイ新湊と新高岡駅、小杉駅を結ぶ周遊バスの実証運行を実施した。また、バス車内での観光客へのおもてなしの力を養成するため、アテンダント育成事業を実施した。
- 観光客の利便性向上と地域高齢者の移動手段の確保に向けた効果を測定するため、電気三輪自動車を購入し、新たな地域公共交通「べいぐるん」の実証運行を実施した。また、キッチンカーを導入し、創業や事業者支援を目的とした貸与事業を行った。
- 内川の魅力を発信するため、観光客向けの内川周辺ガイド冊子「内川さんぽ」を作成した。また、マイクロツーリズムや今後のインバウンド需要への対応のため、多言語で観光スポットを紹介する観光案内ツール「JFM」を制作した。

<今後の取組>

周遊バス等運行事業については、クロスベイ新湊、新高岡駅を結ぶ周遊バスの実証運行を実施し、市内外から新湊地区への観光面での交通の確保と利便性の向上を図る。また、河川を活用した水上交通(観光船・水上バス等)の実証運行を実施し、新湊地区への2・3次交通の強化を図る。

商店街復興及び活性化等事業については、電気三輪自動車の実証運行の検証を踏まえ、運行範囲や運行方法等を変更し、再度実証運行を実施する。また、キッチンカーやシェアキッチンを活用した創業者支援・販路拡大支援事業を実施するとともに、商品開発・販路拡大セミナーやアドバイザーによる助言を受ける機会を設け、知識や取組手法を学び、商店街の活性化に繋げる。

②「海のあるスイス」をめざすALL富山観光プロジェクト

事業費 2,327千円  
 交付金額 1,163千円

<事業概要>H28～R2

平成28年5月に日本版DMO候補法人として登録された(公社)とやま観光推進機構を中心に、「選ばれ続ける観光地 富山」を目指し、官民一体となって「マーケティング＝売れる仕組みづくり」と「ブランディング＝上質なライフスタイルのブランドイメージの確立」に重点的に取り組む。

- 戦略的な観光地域づくり・広域観光の拠点化
- 富山らしい魅力創出・戦略的なプロモーション
- 美術館・博物館・芸術文化施設等の魅力向上・発信による誘客促進
- 首都圏等での戦略的情報発信による富山のブランド力アップ
- 季節に応じた富山の食の魅力の発信・イベント開催等を通じた「食のとやまブランド」の確立

KPI		H27	R1	R2
富山県全体の観光消費額(億円)	目標値		2,067億円	2,110億円
	実績値	1,635億円	1,483億円	—
首都圏のアンテナショップへの来館者数(人)	目標値		1,100,000人	1,150,000人
	実績値	508,000人	673,097人	421,905人
県立美術館等の年間来館者数(人)	目標値		550,000人	620,000人
	実績値	397,000人	616,498人	266,134人
延べ宿泊者数(人)	目標値		4,569,490人	4,921,490人
	実績値	3,895,490人	3,807,890人	—

※前年度数値未確定

<主な取組及び成果>

新型コロナウイルス感染症による移動制限等の影響で来館者数が減少したが、県及び県内市町村と連携し、観光資源の磨き上げ、旅行商品の企画・販売、プロモーションなど、様々な情報を発信することで、オール富山で戦略的な魅力発信を行うことができた。本市の旅行商品としては、「新湊観光遊覧」や「内川着物散策」、「かに小屋」などをツアーに盛り込み販売した。

<今後の取組>

とやま観光推進機構(日本版DMO)を中心に連携自治体・市町村観光協会・観光事業者等と協力の上、特に当該市の観光振興施策に取り組む。  
 なお、令和3年度から、コロナ後を見据えた新たなニーズに対応するため、DMOを中核とし、市町村や地域の多様な産業・人材が参画した地域主導による「稼げる」観光地づくり推進事業(地方創生推進交付金事業)を5か年にわたり実施する。

③「みらい」へつなぐ持続可能な富山型グローバル交通ネットワーク形成事業

事業費 787千円  
 交付金額 393千円

<事業概要>R1～R3

●地域公共交通ネットワークの確保・充実

県民・観光客等の地域公共交通の利用が進むよう、県・市町村・交通事業者が連携を図り、バスの乗継案内・運行情報(遅延情報)や沿線の観光情報の情報提供(多言語化対応)、運行間隔の短縮のための増便、条件不利地域(過疎地域等の中山間地域)での利用活性に向けた調査・実証運行等を行うなど、ニーズに応じた交通サービスの提供や接続利便性の向上により地域公共交通ネットワークの再構築を進める。

●県内外との広域交通ネットワークの確保・充実

県内や県外との周遊機能を高めるため、新幹線駅・拠点駅等と県内観光地・隣県観光地とスムーズに周遊できる広域的な公共交通サービスの充実や、多彩な鉄道・軌道を活かしたツーリズムの活性化に取り組む。

●富山空港の機能の充実

・羽田線の維持・充実、関西、九州・沖縄などへの新規路線やチャーター便の開拓など、国内航空ネットワークの充実、及び国際路線の維持・拡充に取り組む。

・空港の利便性の向上や活性化を促進、及び空港内の施設の適切な維持管理、航空機の運航に対する安定性の確保に努める。

KPI		H30	R1※	R3
鉄軌道・バスの利用率(県民1人当たりの年間利用回数)(回)	目標値		46.50回	47.60回
	実績値	46.00回	45.50回	
観光客の県内交通機関の満足度(%)	目標値		53.8%	57.8%
	実績値	50.8%	45.2%	
農林漁業等体験者数(県内における棚田オーナー、観光農園、地引網等の体験活動に参加した延べ人数)(人)	目標値		70,073人	73,822人
	実績値	68,199人	70,005人	
富山空港国内・国際路線(チャーター便含む)の利用者数(人)	目標値		576,730人	586,060人
	実績値	573,120人	545,233人	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

<主な取組及び成果>

令和元年度に県・交通事業者と連携して開発したバスロケーションシステム「とやまロケーションシステム」の維持管理を行った。連携自治体・交通事業者、沿線の商店・観光施設などと協力のうえ、ロケーションシステムが活用され利用者の増加に繋げることができた。

<今後の取組>

今後も引き続き時刻表データの更新等システムの維持管理を適切に実施するとともに、データの利活用や利用促進に取り組み、観光客等への情報提供や、乗りやすく便利な交通環境を整備することにより、交通ネットワークの構築を図る。



④「山と森から富山湾へ 清らかな水の循環の創造」SDGsプロジェクト

事業費 700千円  
 交付金額 350千円

＜事業概要＞R1～R3

●県民や経済界、市町村など県全体が一丸となって持続可能な産業振興に取り組む連携体制の構築と機運の醸成

・県内市町村と連携し、親子連れや若年層に対して、環境保全や食品ロス、地下水の保全などSDGsに関する取組みについてのシンポジウムやワークショップ、経営者向けトップセミナー、体験・啓発イベントを開催するなどSDGs理念を一層普及させる。

●美しい富山湾の「環境」魅力の維持・向上に向けた取組みによる新たな「観光」魅力の創出

●美しい富山湾で持続可能な漁法により漁獲した「富山のさかな」が高付加価値であることのPR

●エシカル消費のマーケット拡大に向けて特に若年層を対象に、社会や環境に配慮した消費行動を喚起

●県民と事業者の双方に対する地下水保全の理解促進と県内外へのPR

KPI		H30	R1※	R3
観光地入込数(富山湾岸エリアの主要観光地・観光施設)(万人)	目標値		323万人	333万人
	実績値	319万人	335万人	
県産代表6魚種の産出額(税抜)(億円)	目標値		39.90億円	41.40億円
	実績値	39.30億円	33.90億円	
食品ロス等削減に取り組む協力事業者数(件)	目標値		281件	350件
	実績値	246件	498件	

※実績値の公表が翌年度2月となるため前々年度実績

＜主な取組及び成果＞

「世界で最も美しい湾クラブ」加盟記念モニュメントが設置されている海王丸パークにおいて、(公財)伏木富山港・海王丸財団がSDGs推進の一環として実施した帆船海王丸一般公開30周年記念事業(記念講演会、パネル展示等)を県とともに支援し、SDGsの理念の普及に繋げた。

＜今後の取組＞

海王丸パークでのイベント、海王丸の保存活用事業を通じて、SDGs啓発を実施し、富山湾の環境保全、魅力向上等に繋げる。

⑤スポーツ施設を核とした地域活性化事業(地方創生拠点整備交付金事業)

事業費 63,030千円  
 交付金額 31,500千円

<事業概要>R2~R3

スポーツ合宿誘致への需要に対応するため、県西部唯一のFIFA規定人工芝グラウンド2面及び屋根付きフットサル場を整備し、スポーツ合宿を通じた稼ぐ地域づくりを進めるとともに、既存イベント等が開催される近隣施設と連携し、より多くの人々を呼び込み、「射水の一大スポーツエリア スポーツ合宿等で選ばれるまち射水」として魅力創出を図る。

整備に当たっては、地元ケーブルテレビ局と連携・協力し、ローカル5G環境を整備するとともに、AIカメラを設置する。AIカメラは自動で、撮影・収録・編集・配信を同時に行い、YouTubeなどを通して世界中に大容量動画をシームレスに同時配信することで国内はもとより、世界中の有名な指導者からの遠隔指導が可能となるほか、同時に臨場感溢れるライブ映像を提供する。

また、IoTを活用した運動解析プログラムを提供し、現地での指導環境を充実させることに加え、ローカル5G環境が整ったホテルとの連携により撮影した映像によるプレー分析をホテルで行うことを可能にする。

さらに、近接する県内有数のスポーツトレーニング施設であり、温水プール・アリーナ・各種専門的なトレーニングマシンを備えた海竜スポーツランドを開放することで、身体能力の向上を図るための複合的なトレーニングメニュー等の提供が可能となり、スポーツ合宿のニーズに対応できる環境を整える。

KPI		R1	R2	R6
フットボールセンターの利用者数(人)※累計	目標値		0人	60,000人
	実績値	0人	0人	
スポーツ合宿の誘致件数(件)※累計	目標値		0件	30件
	実績値	0件	0件	
全国大会開催数(件)※累計	目標値		0件	3件
	実績値	0件	0件	
総合型地域スポーツクラブ会員加入率 (クラブ入会者数/射水市人口)(%)	目標値		4.80%	5.00%
	実績値	4.80%	4.14%	

<主な取組及び成果>

フットボールセンター整備に向けて実施設計を行った。また、toto助成や企業版ふるさと納税等の財源獲得のための取組を進めた。(R2企業版ふるさと納税実績 3件)

<今後の取組>

令和3年度末の竣工を目指して整備工事を行う。また、整備工事に並行して、整備地周辺の賑わい創出について検討を進めるとともに、ネーミングライツ等有料広告の募集に取り組む。

事業費 97,054千円(平成28年度～平成30年度の総額)  
 交付金額 47,013千円(平成28年度～平成30年度の総額)

<事業概要>H28～H30

純射水産養殖サクラマスの価値観の向上を図るため、試食会等の実施による販路拡大、JR西日本との商品開発、企業マッチングによる販路拡大のための商談会への参加、展示会出展を行う。また、市場価格の決定のための調査、ユーザーに適応した生産体制の確立のための調査を行う。

養殖施設診断の結果、陸上養殖に必要な水量の確保がなされていないことが判明していることから、新たに海面蓄養(養殖)試験に着手し、その生産量の増強と、大型市場化を狙う。

軌道に乗った事業運営のため、マーケティングも含めた経営診断及び、サクラマスのプレミアム化を含めた商戦、売り込みの展開を行い、稼ぐ力と継続するビジネスを再度検証し、自立に向けた展開を進める。

地域に立脚した生産システムを確立し、ローカルブランディングを創出し、関連する専用米づくりや魚醤製造、熊笹生産や幻のますの鮨製造等を含めた労働生産性の向上を図り、若者の一次産業への積極参入、良質な雇用により地方の自立に結ぶことを目標とする。

KPI		H27	R2
純富山産サクラマス(陸上養殖)の年間売上高(千円)	目標値		60,000千円
	実績値	0千円	19,553千円
鮭専用米作付面積(a)	目標値		1,200a
	実績値	0a	50a
養殖サクラマス取扱店(店舗)	目標値		10店舗
	実績値	0店舗	60店舗
海面蓄養(養殖)サクラマス売上高(千円)	目標値		45,360千円
	実績値	0千円	18,053千円

<主な取組及び成果>

- 1 県内イベントでのPR活動や市内飲食店でサクラマスメニューを提供してもらう等、さらなるブランド認知度の向上を図った。
- 2 海上生簀の設置・撤去費の補助を行うことで、地元漁業者が取り組む養殖漁業の振興を図った。
- 3 鱒寿司専用米の生産、市場開拓に取り組んだ。
- 4 海面蓄養試験として、生簀修繕改良及び生簀設置及び撤去費の補助、生簀周辺の水質・底質等の生育環境調査を行った。

<今後の取組>

引き続き、県内外において売り込み展開を行い、更なるブランド認知度の向上を図る。また、歩留まり率、平均重量を向上し、市場価格での出荷を目指す。

## 7 総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標

項目	新規	数値目標、KPI	基準年度	基準値	目標値 (令和6年度)	目標値の確認方法
基本目標1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり	数値目標	「子育てが楽しい」と回答する割合	H30	97.8 %	100 %	健診に来た保護者への問診結果
		「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	H30	(小)93.3 % (中)80.5 %	(小)100 % (中)100 %	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
結婚に対する支援	重要業績評価指標 (KPI)	男女出会いイベント年間開催数	H30	4 件	8 件	婚活サポーターズクラブ主催のイベント及び市が助成し民間が主催するイベントの件数
子育て支援サービス等の充実		休日保育実施保育園数	H30	9 園	10 園	休日保育を実施する保育園の数
		子育て支援センターの年間利用者数	H30	50,122 人	55,000 人	子育て支援センターの年間利用者数(市内子育て支援センター9か所の利用者の合計値)
		新 R2 射水市子育て支援センター利用者満足度	R1	89.0 %	100 %	利用者アンケートの質問事項として設定(子育て支援センター(キッズポート内)利用者へのアンケート)
		子育て情報ちやいる.comへのアクセス数	H30	99,569 件	538,000 件	子育て情報ちやいる.comへのアクセス件数(累計)
		新 赤ちゃんの駅設置箇所数	H30	37 箇所	45 箇所	赤ちゃんの駅の設置箇所数
男性の育児・家事参加促進		男性の育児休暇取得率	H30	18.9 %	20 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
親と子の健康づくりの推進		3歳6か月児健康診査の受診率	H30	99.2 %	100.0 %	3歳6か月児健康診査の受診率
未来を担う子どもたちの学力定着、たくましい子どもの育成		家庭学習の1日当たり時間が「10分間×学年」以上の児童・生徒の割合	H30	(小)88.2 % (中)68.3 %	(小)100 % (中)100 %	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
郷土愛を育む教育の推進		地域の行事に参加している児童・生徒の割合	H30	(小)79.3 % (中)61.2 %	増加	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
それぞれの子どもに寄り添った教育の推進	不登校児童・生徒数	H30	(小)32 人 (中)63 人	減少	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果	
家庭や地域における教育の充実	家庭教育に関する講座・学習会の年間参加者数	H30	994 人	1,100 人	いみず親学びスクール、子育て井戸端会議、家庭教育アドバイザースキルアップ研修会の参加者合計	
基本目標2 地域のしごとづくり	数値目標	雇用創出数(年間求人数)	H30	10,217 人	11,000 人	ハローワーク高岡管内の年間求人数
		6次産業化推進事業件数(累計)	H30	1 件	3 件	県の6次産業化サポートセンターを利用した事業件数
企業等誘致の推進	重要業績評価指標 (KPI)	市内企業団地分譲率(サテライトオフィスを含む。)	H30	97.6 %	100.0 %	市内企業団地分譲率
創業や意欲のある企業への支援		創業支援事業補助金年間利用件数	H30	15 件	20 件	創業支援事業補助金年間利用件数
産学官金連携による共同研究、学術交流の実施		産学官金連携共同研究の年間件数	H30	14 件/年	15 件/年	共同研究の件数を富山県立大学の地域連携センターから報告
射水ブランド商品開発支援、情報発信		新 射水ブランド商品開発等支援補助金を活用した延べ件数	H30	1 件	7 件	射水ブランド商品開発等支援補助金を活用した延べ件数
6次産業化の推進		新 養殖サクラマスの年間出荷数	H30	17,200 尾/年	40,000 尾/年	堀岡養殖漁業協同組合から報告
情報通信技術の活用		新 IT、IoTを活用して生産性向上に取り組む事業者の割合	H30	— %	30 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果(新規に項目を設ける)
		新 R2 テレワークを実施している企業数	R2	—	増加	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発		新 長時間労働の削減に取り組む事業者の割合	H30	56.3 %	65 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
勤労者の福利厚生の充実		中小企業退職共済加入者数	H30	3,759 人	4,200 人	中小企業退職共済から報告
人材確保に対する支援		人材確保充足数	H30	1,601 件	1,650 件	ハローワークで出している市内企業の求人に対し、求職者をマッチングした件数

項目	新規	数値目標、KPI	基準年度	基準値	目標値 (令和6年度)	目標値の確認方法
基本目標3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり		純移動数(転入者数-転出者数) ※直近の5年間の累計	H30	△164 人	0 人 (均衡)	富山県人口移動調査による
	新	射水市観光ホームページ閲覧数	H30	332,298 件	600,000 件	観光協会で運営しているホームページの閲覧数(累計)
移住交流の推進	新	移住施策を活用して市外から移住した人数	H30	88 人	100 人	移住施策を活用して市外から移住した延べ人数
住宅支援	新	指定宅地における住宅建築率	H30	41.9 %	50 %	指定宅地における住宅建築率
住宅相談・住まい情報の提供		住宅相談窓口年間相談数	H30	36 件	45 件	射水市住宅関連情報提供事業の一環として設置している住宅相談所での相談件数
空き家の有効活用		空き家の有効活用支援延べ件数 (サテライトオフィス、シェアオフィスを含む。)	H30	1 件	3 件	各種助成制度を活用し、空き家の有効利用を図ったものの延べ件数
	新	空き家情報バンクへの登録件数	H30	36 件	40 件	空き家情報バンクへの登録件数
観光資源の有効活用		ロケ地(川の駅)年間来訪者数	H30	45,835 人/年	50,000 人/年	川の駅新湊の入込数
		海王丸パーク周年年間入込数	H30	1,767,400 人/年	1,850,000 人/年	海王丸パークときつとぎと市場の入込数の合計
関係人口の創出	新	継続的に射水市にふるさと納税をした人数	H30	295 人/年	320 人/年	3年以上継続して射水市にふるさと納税をした人数
	新R2	市公式LINEアカウント友だち数	R2	— 人	5,000 人	市公式LINEアカウントの友だち数(ブロックしていない友だち数)
スポーツによる交流人口の拡大	新	フットボールセンターの年間利用者数	H30	0 人/年	60,000 人/年	R3年度に建設予定のフットボールセンターの年間利用者数
コミュニティバス、デマンドタクシー運行の利便性向上		コミュニティバス等乗車人数	H30	418,572 人/年	450,000 人/年	コミュニティバスとデマンドタクシーの乗車人数
2次交通の充実		万葉線乗車人数	H30	1,192,041 人/年	1,200,000 人/年	万葉線の乗車人数
	新	小杉駅、越中大門駅の乗車人数	H30	1,557,820 人/年	1,600,000 人/年	あいの風とやま鉄道が発表する1日あたりの乗車人数×365日
高等教育機関、企業等と連携した学生の地元就職支援		市内企業に就職したい学生の割合	H30	50.7 %	70.0 %	市内企業訪問バスツアー参加者に対するアンケート調査結果
		学生訪問支援事業の参加学生の満足度	H30	97.2 %	98.5 %	市内企業訪問バスツアー参加者に対するアンケート調査結果
		合同企業説明会の年間学生参加数	H30	18 人/年	90 人/年	合同企業説明会の学生参加数
学生の地域活動への参画		市のまちづくりについて「関心がある」と答える学生の割合	H30	63 %	70 %	学生アンケートの結果

項目	新規	数値目標、KPI	基準年度	基準値	目標値 (令和6年度)	目標値の確認方法
基本目標4 安心して暮らせる時代に合ったまちづくり	新	地域の支え合い体制の推進地域数	H30	15 地域	27 地域	地域支え合いネットワーク事業を実施している地域数
		まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	H30	45.5 %	50.0 %	まちづくり講座(まちプラ、まちづくりセミナー等)への参加者に対するアンケート
医療体制の充実と質の高い医療の提供		総合患者満足度数	H30	4.13 点	4.15 点	入院患者を対象に行っている満足度調査の結果
地域の防災体制の整備、安全・安心な暮らしの実現		防災士取得者延べ人数	H30	109 人	162 人	防災士取得者数
		消防団員数	H30	707 人	757 人	消防団員数
低炭素・循環・自然共生による価値の創出	新	一人/日当たりのごみの排出量	H27	1,117 g	1,006 g	国報告値 ※年度の国確定値の報告が翌年度の1月ごろになるため、数値は前々年度の実績値
	新	リサイクル率	H27	30.9 %	34.5 %	
地域づくりの担い手育成		まちづくり講座年間受講者数	H30	22 人	200 人	まちづくり講座(まちプラ、まちづくりセミナー等)への参加者数
全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の展開	新	事業運営を担う中核的法人数	H30	0 法人	2 法人	老若男女が活躍できる「ごちゃまぜ」のまちづくりに主体的に取り組む法人数
高齢者が健康で生きがいを持ち活躍できるまちづくりの推進		元気な高齢者の割合	H30	82.0 %	78.0 %	65歳以上人口のうち、要支援・要介護認定を受けていない者の割合
多文化共生の社会づくり	新	多文化こどもサポートセンターの年間参加数	H30	176 人/年	200 人/年	多文化こどもサポートセンターの年間参加数
人口減少を踏まえたストックマネジメントの強化		見直しする公共施設の延べ件数	H30	32 件	42 件	廃止した累計の施設数
情報通信技術の活用による利便性の向上及び行政の効率化		ICカードの多目的利用延べ業務数	H30	4 業務	10 業務	マイナンバーカードを利用できる業務の数
	新	IoT活用延べ業務数	H30	0 業務	15 業務	IoTを活用する市の事業の数
	新	RPA活用延べ業務数	H30	0 業務	20 業務	RPAを活用する市の事業の数
	新 R2	テレワーク活用延べ件数	R1	0 件	360 件	市職員でテレワークを実施した件数 (目標:テレワーク端末30台×12か月)
とやま呉西圏域連携中枢都市圏の取組強化、官民連携事業の推進		とやま呉西圏域連携中枢都市圏で取り組む事業数中、本市が参加する年間事業数	H30	32 件	33 件	とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づき実施された事業のうち、本市が参加する事業数

